



ひだまり

さくら千手園 佐倉市青菅1019 043-462-2008 木の宮学園 佐倉市青菅1051 043-463-1008

目次

散歩道	1
さくら千手園	2
夏まつり	2
千手園日記	2
作業班紹介(農耕班)	3
クラブ紹介(書道・スポーツ)	3
木の宮学園	4
ボランティア講座	4
木の宮日記	4
作業班紹介(縫製班)	5
クラブ紹介(フライングディスク・ソフトボール)	5
サポート	6
ボランティア紹介	6
アプローチ	7
治療教育学(その5)	7
情報フラッシュ	8

さくら千手園
那須ハイランドパークにて



木の宮学園
八景島シーパラダイスにて



秋の親子旅行

散歩道

あかあかと
日はつれなくも

秋の風 (芭蕉)

秋で思いつく言葉では、秋祭り・稲刈り・仲秋の名月・菊人形・柿におどろきに栗にいわしに秋刀魚・もみじに銀杏に鈴虫にこおろぎに渡り鳥・コスモスに赤とんぼ……
実りの秋の食と清しい景色を求めての親子旅行。千手園は、9月11日〜12日宿泊旅行で那須高原へ。木の宮学園は、9月25日バスハイキングで八景島シーパラダイスへ。みんな何故かうれしそう。個別で出かけるニード別旅行もいいが、偶にはみんなで旅行するのも楽しいもんだ。

旅は道連れ世は情け

親子で一緒に旅行できるのもあと何年かと考えるとちよっと寂しい。いずれは自分の子供を連れての親子旅行がしたいね。

この広報誌が届く頃には、紅葉が舞い秋の日はつるべ落としで、秋深し隣は何をする人ぞ



(芭蕉)

さくら千手園

夏まつり

前日からの雨に見舞われ、当日の天候が心配されましたが、その心配とは裏腹に晴天に恵まれ第11回千手会まつりが開催されました。

前日まで利用者と職員とでボスター・チケット・花紙作りに取り組んで来ました。みんなとても真剣で、クレヨンで色をぬる人・ハサミで紙を切る人・のりで貼りつける人、それぞれが迫り来る夏まつりにむけて一生懸命に頑張っていました。職員も同じで炎天下の中ヤグラや看板作りを行っていました。

いよいよ当日になり、予想以上に地域の方々が来園され模擬店も大盛況で、中でも人気が殺到したのが今年副園長より考案されたパットゴルフでした。使われた芝も風景も全て手作り、リアルに作られていたためか長蛇の列ができ、とても盛り上がっていました。他



に、飲食店・射的・金魚すくい等も利用者にとっても喜ばれました。皆んなお腹一杯食べて踊って遊んで満足気な顔をして帰宅していく姿を見て、私達は「ほっ」と胸をなでおろしました。

最後にご協力いただきましたボランティアをはじめ多くの地域の皆様、保護者各位、ご協力有り難うございました。
(久保)

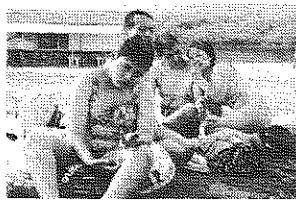
< 海水浴 >

ニード別外出

< 北海道 >

6月16日から6月19日までの4日間、初の飛行機での旅『北海道』へ行ってきました。札幌の大通公園、小樽の運河、登別温泉の地獄谷等、有名所はもちろんのこと、定期観光バスを利用し、藻岩山、羊ヶ丘展望台等へも足を運びました。

3泊目の洞爺湖温泉ではプール・温泉でゆっくり旅の疲れを癒し、夕食をすませ部屋へもどると、目の前にあ



7月28日から3日間、安房郡丸山町の海へ行ってきました。一日目は2〜3時間浜辺で過ごした後、ペンションへ行つて夕食をとりました。その後、疲れてすぐに眠ってしまった人、夜中まで起きていた人とさまざまでしたが、

千手園日記

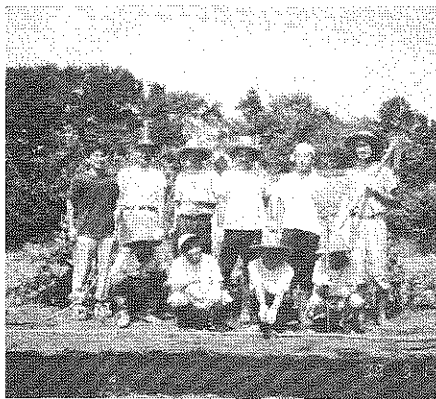


る洞爺湖より花火が打ち上げられ、あまりの美しさに皆、時が経つのを忘れてしまう程でした。ジンギスカン、寿司、カニ、札幌ラーメンと心もお腹も大満足な4日間でした。広大な北海道、次はどの辺へ行こうかな？
(斉藤)

朝食時には全員そろって食べる事ができました。二日目は一日中浜辺で過ごすことになっていましたが嫌だという人もいて、海の家で昼食をとった後、ドライブを楽しみながらゆっくりと宿に帰りました。夜にはみんな花火をしました。夜には皆んなで花火をしました。寝そべて見て楽しんでる人、それぞれでした。三日目は午前中海に行き、ラドン温泉に入り楽しい思い出を作っていました。
(仲田)

作業班紹介 (農耕班)

蝉が鳴き、太陽が笑っている夏の暑い日、朝9時40分になると皆車に乗りこんで八千代の畑へ向けて出発です。車中Kさんから「今日の作業は何?」と聞かれ「草取りです」と答えると笑いながら「草刈り機だね」と言っているTさん。車がすれ違う度に元気に「オー」と言っているSさんと大親友のAさん。そんな会話をしているうちに車は畑に到着。「今日も頑張ろう」と言ってくれるSさん。それでは作業の始まりです。黙々と草を取るAさん。楽しそうに会話をしながら作業をするKさんとTさん。それを眺めるTさん。積極的に活動しているMさん。皆がとった草を運んでくNさん。皆がそれぞれに力を合わせ頑張っています。職員は?という



と、パ〇〇コの話で夢中になっていて……というのは冗談で、皆に負けないように頑張っています。とこれがある日の農耕班の1日です。農耕班は利用者9名・職員4名で行っています(全員男性)。“明るく楽しく作業をしよう”を合言葉に作業に取り組んでいます。主な収穫物はトマト・ジャガイモ・サツマイモ・ナス・シタケ等です。今後は、大根を作る予定です。我ら農耕班の作物は、今どきめづらしい無農薬野菜です。お子さんの成長に、奥さんの美容と健康に、そしてお父さんの毎日の活力にととても適した作物となっています。店頭に並んでいるような粒や形のそろった物とはいかないかもしれませんが…?いやいやどうして味は保証付き、きゅうりもなすも大根も、自然のままの形で消費者の皆様にお届けいたします。形を見て喜び、味をみて楽しむ。ぜひ一度我ら農耕班の汗と涙の結晶を御賞味下さい。(榎本)

今年度より新しく出来た「書道クラブ」です。「書道」というと正座をして堅苦しい雰囲気なのかで行うというイメージがありますが、我がクラブはともなごやかです。まず思い思いに書いてもらいます。字は書けなくても横棒・縦棒をかける人は「こい」という手本で書いてもらったり「一」を一緒に書いたりしています。字の書ける方は季節を表わす文字を書いたり人それぞれです。クラブに参加した人全員に「一歩一歩」という新聞の題字を書いてもらい掲載しています。行事などのパンフレットやチケットなどの字も書き、少しずつですが発表の場を広げています。みなさんは非御参加を!

(森)



書道

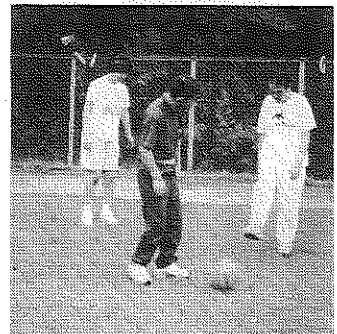
クラブ紹介



スポーツ

今年度から新たに取り入れたミニサッカーは、ワールドカップ日本初出場の影響もあるのかとても人気があり、ドリブルが得意のHさんやパス出しの上手なSさん、キーパーもこなせるIさんなどが、それぞれの個性や持ち味を出しながら皆さん楽しんでいきます。いろいろなスポーツをいろいろな形で楽しむことができる人気のあるスポーツクラブです。

(松田)



木の宮学園

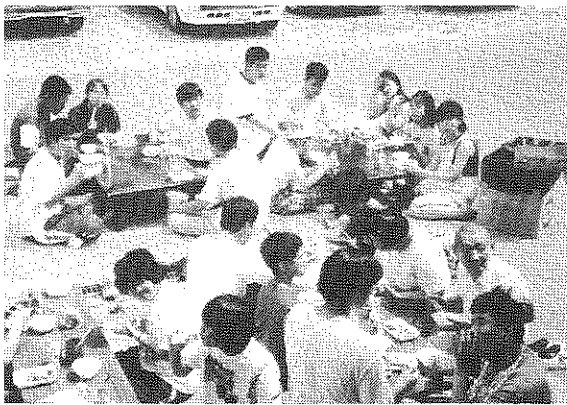
ボランティア講座

木の宮学園主催での第一回ボランティア講座を8月25、26日の2日間に渡って開きました。今回は、佐倉市や社協の広報誌などを通じ、中高生を対象に参加を募りました。なんと12名の参加があり、担当者にはうれしい悲鳴をあげました。

一日目は自己紹介と講座により知的障害者についての理解をしてもらい、午後は各班で一緒に作業をして交流を深めてもらいましたが、まだまだもじもじしている姿が目立ちました。二日目も各班での作業、昼は外でのバーベキュー（おもしろかったそうです。）グループ活動を通じ一層の交流が図れたようです。参加者の中高生も何度か学園に來た事のある方、初めての方と様々でしたが、反省会では「2日間では短かった。」「また来たい。」「初めの怖いイメージが変わり、やさしい人が多い。」など

の感想が聞かれ、中高生のすばらしい感性と自分らしく利用者と自然に接している姿に感心しました。今後も講座は続け、多くの方に木の宮学園を知ってもらいたいと考えています。次回の講座が楽しみです。

(渋谷)



夏期一泊旅行



夏休み2日間を利用しての一泊旅行。今年も「もとな荘」へワゴン車6台とマイクロバス1台での大移動です。各車毎で昼食をとり「もとな荘」へ。今年の夏は涼しく水着に着がえて海岸へ出る方が少なかった。しかし、海を見るとTシャツ・ズボンのままドボンと海へ入る人や波とたわむれる人等、一時の海辺の遊びを楽しみました。海から上がり入浴で体もさっぱりとし、夕食の時間です。今年グループインする職員の結婚報告会を本人にも内緒で、突然のハプニングに利用者の方々も大喜びノオメデトウの大合唱に当事者も大感激!! そんな思い出と共にのんびり、ゆったり2日間。来年は又、どんな思い出作りが出来るか楽しみです。

(中野)

木の宮日記

グループ旅行
6月11日から1泊2日で、私達は伊豆熱川へグループ旅行に行ってきました。1日目は、熱川バナナワニ園です。様々な熱帯の植物を見た後で楽しみにしていたワニの見学です。石像の様に止まっていたワニが、近づくといきなり動き出したのでとても驚いていました。

2日目は、伊豆バイオパークです。バスに乗りサファリパークの中を見学しました。キリンが顔を近づけてきたり、真近に触れる動物達に皆、興味深々の様子でした。帰りの電車の中では、「また旅行に行こうね。」との声が出るほどに充実した2日間を過ごせたと思います。

(小石)



(伊豆バイオパークにて)

作業班紹介

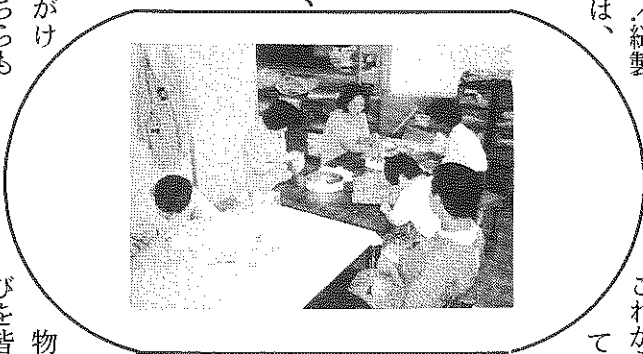
縫製衣班

のんびり/楽しい/縫製

班を紹介します。今は、パフクッション・トールペイントを中心に活動しています。どちらを作るかは、利用者皆さんの希望で決まります。

縫物が得意な方は、自分の好きな布の柄を選び、素敵なクッションを作っています。またトールペイントをするための板をコツコツとやすりがけ

している方など、どちらも手をを使う細かい作業ですが、出来上がった時はとても満足そうです。トールペイントは今年度から取り入れたもので、始めたばかりということもあり、今はコースターを作っています。動物や花の型を板に当て、好きな絵の具を丁寧に何度も塗り、乾いたらニスを何度



も塗り重ねて仕上げます。夏まっりの作品販売では、ほぼ完売することができ、うれしく思いました。これから徐々に大きな物も作っていく予定です。

他の班に比べて静かな作業風景ですが、おしゃべりに花が咲くことも多く、そんな時は手も休みがちになり、「のんびり」やっている私達です。

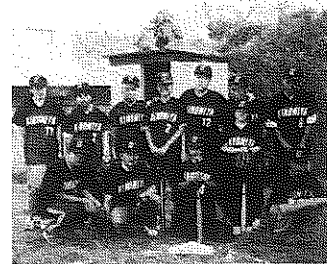
「おしゃべりを楽しみなながら気付いたら作品ができています。」
「楽しみながら、みんなの力でひとつの物ができた。」そんな喜びを皆さんと味わっています。お店で売っている物のように作れません、縫製班の作品には「愛」が詰まっています。御愛用下さい。



(百瀬)

①ソフトボール

ソフトボールクラブは、千葉県ゆうあいピックソフトボール大会出場を目標として活動してきました。昨年までは、千手園



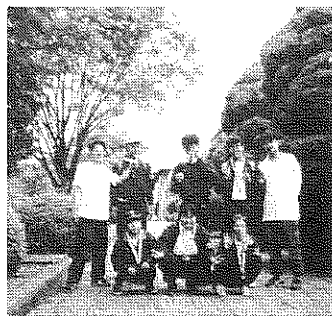
との合同チームで大会に参加していましたが、今年からは木の宮学園の単独チームで参加することが決まり、より一層練習に熱が入ってきました。写真は、新調した木の宮のユニフォームです。(上着→紺・ズボン→グレー)メンバーに色を選んでもらい、皆さんとても気に入っているようです。ユニフォームは、メジャーリーグのデザインとなっており、大会ではそれに負けないよう、初戦突破を目指しがんばって練習をしていきたいと思っています。皆さんの応援をお待ちしています。

(山崎)

フライングディスク

平成7年度より木の宮学園では、誰もが手軽に楽しめるスポーツということでフライングディスクを取り入れました。年々利用者から「やって見たい」という声が多く聞かれるようになり、楽しく競技練習に励んでいます。

また、この競技を行う際、年間2大会の出場を目標にしています。ゆうあいピック大会・連盟主催の大会、それぞれで利用者の方々に出場の機会をつくり、大会出場の楽しみを味わってもらっています。大会に出場すると



に好成績を出せるようになってきていますので、今後も楽しく行っていききたいと思います。

(吉村)

クラブ紹介

ボランティア紹介

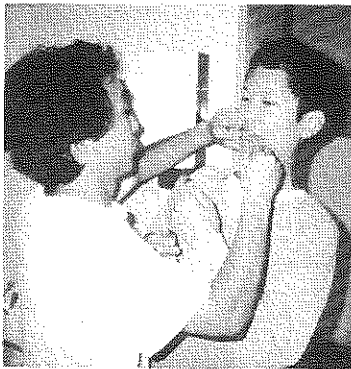
歯科衛生士さん



千綿 かおる

初めて千手園に訪わ
ていただいたのは平成三
年で今から七年前になり
ます。昼食後の歯磨き指
導に訪うようになり、多
くの楽しい経験をさせて
いただきました。この頃
の記録を見ますとT Tさ
んと仲良しになったとか、
SSさんが初めて歯磨き
させてくれたと書いてい
ます。SHさんは始め口
を開けてもらえなかった
けれど、次第に慣れて自
分でも歯磨きできるよう
になりました。ほとんど
の方の歯磨きができるよ
うになり、口の中の観察
をしていきました。一年、
二年、三年と経過を見て
いくと職員の方々の頑張
りが見えてきます。しか

し、高齢化は確実に進みつつあり、
今後は今までよりもっと変化を
していくだろうと思います。今か
らできること、本人磨きのできる
人は頑張つて、職員方の上手な声
かけが効果的でしょうね。また自
分で磨けない方へは職員方のやさ
しい歯磨きで歯を守ってあげて下
さい。快い歯磨きを知ってもら
うと歯磨きも嫌がらなくなるでし
う。私の方は、この頃仕事の都合
で以前のように訪えなくなってい
ます。時々看護婦さんからみなさ
んの様子をお聞きしています。
○〇さんの歯は大丈夫かななど思
いながら、また訪える日を楽しみ
にしています。



食後の歯磨き指導



宮ノ台クイズの皆さん



私達は何時も街で見かける明る
い顔に出会ふと、何となく「ほっ」
とした気分で「今日は」とお互い
に声をかけ合い、思わず仲間同志
の笑みが浮かびます。
私達「宮ノ台クラブ」は、一
つの柱として地域への奉仕活動を
と思つて居ります。丁度園からの
お話もあり、喜んでこれ位のこと
なら私達も出来ることと、洗濯だ
たみをお手伝いすることになり、
T君やY子ちゃんの手ぎわの良い
楽しいかけ声と一緒に、週何日か

をおしゃべりに花を咲かせながら
通いました。

はじめは張り切っていた私達も
年には勝てず一人減り、二人減り
して二年目の今年はやむなく中
止と言う情けないことになり本当
に申し訳なく思つて居ります。

私も、クラブ活動のお花の仲間
入りをさせて戴きましたが、花に
向かう明るい睦み、優しさ、セン
スの良さに思わず「ハッ」としま
した。時には教えられることがあ
り、「僕のは園長室にかざつて良
いでしょ」と活けた花を大事に大
事に運ぶ姿に思わず心の中に暖か
さと、周りの方達の日頃の愛情が
伝わってきました。目頭の熱くな
る思いで一杯で、地域にこんなす
てきな安らぎがあることのうれし
さで一杯でした。

クリスマス、夏まつりと一緒に
売り子になり、踊ったり歌ったり
の一時も職員方の大きな愛に包ま
れた幸せを私達も共に幸せと感じ
させて戴いて居ります。

いつも一緒と言う思いは有る
のに何も出来ず、どうぞ又お仲間
になれることがあればいつでもお
声をかけて下さい。明日に向かっ
て元気にいきましよう。(園田)

Approach

アプローチ=接近する・研究方法

治療教育学 ― その五 ―

施設はどうあるべきか

今までの歴史を振り返ってみると、「福祉」が、時の社会・経済の状況によって大きく変わってきたこと、そして「障害のある人」への対応は特に強い影響を受けてきたことがわかる。改めてこのことに触れるのは、実は、本稿を依頼された一年前の予想を遥かに超えた渦巻きが、今、施設の周囲に起こりはじめたからである。

施設は必要悪だとまでいわれ、危機だ、岐路に面している——と言われ続けている。四十余年。しかし施設の数は増え続け、特に大人のそれは満床。よほどのことがない限り倒産・閉鎖はなかった。『施設には自浄作用があるのだ』という先輩の言に、納得した者も少なくなかったし、施設は措置費という税金で経営されている安定企業だ……という私のようなイジワル婆もいた。昨今の経済低成長下で



保健衛生（爪切り）

の少子・高齢化の急速な進行が最大の理由となつて、『社会保障構造改革』が論じられ、介護保険の導入（平成十二年度）で老人施設の運営は措置費ではなくなるといふ大変革がなされた。同時に「社会福祉基礎構造改革」の検討が始まり障害福祉の分野でも、障害施策の総合化、措置制度の検討などが進んでいる。これから施設はどうなっていくのか。施設利用者はどうなるのか……と全国二、七八八（平成六年）の施設関係者には不安と動揺が見られなくはない。が、多様な障害をもつ一人ひとりのニーズに応じたケア・サービスの提供ができる施設、利用者によって選択される施設が求められ、生き残る時が遂に来たのだと思えば、結

構なことではある。さて、発達の障害をもつ人への援助・サービス。治療教育はどうあるべきか——という本論の基本を考える時がいよいよ来た。それには、

※知的障害（精神遅滞・精神薄弱）の特質を知ること。

精神遅滞になる原因は出生前から出生後（十八才頃まで）の長期にわたり、実にさまざまであることが明らかになっている。つまり人は受精（又はその前）時から、青年期に至るまで、いつ障害を受けるか分からない状況の中で成長している。何時、何の原因で、何処が損傷を受けたのかは全く個々で異なり、同じ状態の人はいないといつてもよい。また、たまたま奇跡的に同じ原因が同じ時期に発生して、障害を負ったとしても、生後、その子どもを取り巻く環境は当然異なるから、性格・行動等が異なってくるのはいうまでもない。

出生前	37%
遺伝性	
胎内性	
不明	
周産期	17%
無酸素性	
感染	
出生後	6%
精神疾患	2%
不明	38%
18才	18

ここで言いたいのは、精神遅滞

の人は、障害を被った部位も、それが生じた時期も、成育環境も一人ひとり全く違っていること、つまり十人十色であることを、しっかり認識すべきだということである。これは、この人が今、何に困り、何に不自由しているか。何を必要としているか。我々は何をすべきか——という援助・サービスの基本が一人ひとり異なることであり、キメ細かに一人ひとりを理解するように努めなければならぬことを意味する。『相手を正しく理解する』という臨床活動の基本は決して容易ではないことは多くの人が知っている所である。

渡辺 映子

- 本論は次のように進めている。
- 一・治療教育とは何か
 - 二・治療教育の流れ
 - 三・今日の治療教育 その一
 - 四・ ” その二
 - 五、六・施設はどうあるべきか
- 限られた紙面で、意の通らない点も多いかと危惧している。ご意見（ご異議も）があったら、是非ともお寄せ下さるよう、お願いする。

行事予定

10月

- 1～2日 グループ旅行：マザー牧場 ⊕
- 6日 フライングディスク千葉県大会
- 7～9日 ニード別外出：五色沼 ⊕
- 23日 手をつなぐスポーツのつどい
- 24日 第3回学園祭 ⊕

11月

- 4～6日 ニード別外出：温泉 ⊕
- 10～11日 ゆうあいピックソフトボール大会
- 14日 佐倉市住民福祉大会
- 26～27日 グループ旅行：長野 ⊕

12月

- 7日～10日 ニード別外出：長崎 ⊕
- 26日 千手会年忘れ会
- 27～5日 木の宮学園冬休み
- 27～10日 さくら千手園冬休み

1月

- 15・16日 餅つき大会 ⊕⊕

⊕：千手園 ⊕：木の宮学園

感謝いたします

千手会夏まつりにご支援、ご参加いただきました皆様へ。

保護者会バザーのお礼

毎夏恒例の千手会夏祭りの折、バザーも併催させて頂きました。不景気の折、地域の皆様方に「ご協力お願い出来るのか」との心配も稀有に終わり売上げも昨年を少し上回る二一四、三〇〇円でした。今迄同様利用者の加齢対策基金として預金し、大切に使用させて頂きます。保護者一同心より感謝申し上げます。

(さくら千手園保護者会)

わたしたちの作品

。。。いぢみし製品の紹介。。。

手芸班の作品は、ハイクオリティ・オリジナリティーをモットーに作成しています。紙漉き部門では、牛乳パックを再利用しての名刺・葉書・レターセットの作成。中でも目玉商品は、花紙や紅茶の葉を散りばめた名刺です。お店ではお目にかかれない珍品です。又、葉書・レターセットには、きれいな押し花を付けて味わいをかもしだしています。作っている利用者の皆さんは、流れ作業なので誰がさぼっても良い作品ができなくなってしまう。皆さん真剣に作業

に取り組み、もはや職人の域でしょう。手芸部門では、コーヒード豆の入った針刺し・ミシンを使用してのバック・巾着・のれん・雑巾が作品となっています。針刺しにコーヒード豆が入っているのはコーヒード豆から出る油分が針のすべりを良くし、又、さびから針を守ります。



バックは人気のポケモン・ドラえもん等のキャラクター布を使用し作成。楽しい仕上がりになっています。巾着は和風仕立てになっています。

一句

ご家庭に

良い物お届け

手芸班

(大内)

おめでとうございます

♥ご結婚

7月18日

久保田 由利枝さん

(旧姓武山) (さくら千手園)

9月19日

吉村 拓明さん

(木の宮学園)

お世話になりました

一之瀬 京子さん

(さくら千手園介助員)

編集後記

日も段々と短くなり、木々の葉も鮮やかに彩られ、秋の訪れを感じる季節となって参りました。いつもならば、食欲の秋を楽しんでいる私ですが、今年は芸術の秋に目覚めようかと思っています。皆様も色付き始めた紅葉を見て、芸術の秋を楽しまれてみてはいかがでしょう。もちろん、お菓子を持ってね。

(植松)

